業 務 内 訳 書

業務名	平成24年度 林道事業工事費積算プログラム等の修正・改良業務

区分	業　　　務	数量	単位	適　用
林道事業工事費積算プログラム	1.計画準備・打合せ	1	式	
	2.プログラム解析	1	式	
	3.設計変更内訳書 （通勤補正の反映）	1	式	
	4.設計変更内訳書 （共通仮設費積上げ項目表示）	1	式	
	5.設計変更内訳書 （表示・印刷行数増）	1	式	
	6.原設計・変更設計数量対照表 （共通仮設費積上げ項目表示）	1	式	
	7.原設計・変更設計数量対照表 （表示・印刷行数増）	1	式	
	8.請負付託仕訳書（表示・印刷行数増）	1	式	
	9.明細表（直接工事費） （表示・印刷行数増）	1	式	
	10.明細表（現場管理費）（一般管理費） （純工事費・工事原価算出時の支給材料費の取扱い）	1	式	
	11.明細表（現場管理費）（一般管理費） （冬期補正チェックボックス削除）	1	式	
	12.通勤補正による労務費割増の加重平均式修正	1	式	
	13.価格調書	1	式	
	14.インストール不具合の解消	1	式	
	15.取扱説明書の更新	1	式	
	16.検証・修正	1	式	
林道事業設計外注費積算プログラム	17.プログラム解析	1	式	
	18.業務費内訳書	1	式	
	19.消費税率	1	式	
	20.品質基準価格	1	式	
	21.格上林道測量入力表	1	式	
	22.格上林道設計入力表	1	式	
	23.乗込引上旅費計算書	1	式	
	24.調査費積算構成表	1	式	
	25.ライトバン経費計算書	1	式	
	26.タイトル画面の年月表示編集	1	式	
	27.メニュー画面及び入力表の項目名変更	1	式	
	28.取扱説明書の全面更新	1	式	
	29.検証・修正	1	式	
直接費　計				
間接費		1	式	
間接費　計				
計				
消費税相当額				
合計				

特 記 仕 様 書

業務名：平成２４年度　林道事業工事費積算プログラム等の修正・改良業務

第１条　適用範囲

本特記仕様書は、北海道森林管理局（以下、「発注者」という）が発注する「平成２４年度 林道事業工事費積算プログラム等の修正・改良業務」(以下、「本業務」という）に適用する。

第２条　履行

本業務の履行にあたっては、本特記仕様書のほか関係法規等について遵守し、業務の目的を十分に理解した上で受注者の有する知識・技術・経験を高度に発揮しなければならない。なお、本特記仕様書に明記していない事項であっても業務上必要と思われるものについては責任をもって履行することとする。

第３条　業務概要

本業務は、発注者が使用する「林道事業工事費積算プログラム」及び「林道事業設計外注費積算プログラム」について修正・改良を行うものである。

第４条　協議

業務の実施にあたっては、適切な業務の遂行を図るため連絡を密にし、業務上不明な点または疑義が生じた場合は速やかに協議するものとする。

第５条　情報の取扱い

受注者は、本業務の履行過程において取得した全ての情報について、発注者の承諾を得ずに第三者への提供、本業務目的以外の利用、複写又は廃棄等を行ってはならない。

第６条　貸与する資料

本業務の実施にあたっては、以下の物品等を貸与する。ただし、貸与品は本業務以外の目的に使用してはならない。また、発注者の求めに応じ管理状況を明らかにするとともに、本業務完了時には速やかに返還するものとする。

①　林道事業工事費積算プログラム
②　林道事業設計外注費積算プログラム
③　林道事業工事費積算プログラム取扱説明書
④　林道事業設計外注費積算プログラム取扱説明書
⑤　その他必要な資料

第７条　業務内容

１　林道事業工事費積算プログラムにかかる業務内容は、別紙１「林道事業工事費積算プログラム修正・改良内容」のとおりとする。

２　林道事業設計外注費積算プログラムにかかる業務内容は、別紙２「林道事業設計外注費積算プログラム修正・改良内容」のとおりとする。

３　前２項の業務について、正しく修正・改良が行われたかどうか検証を行うこと。また、修正・改良箇所以外に不具合が発生しておらずプログラムが正常に動作するかどうか検証を行うこと。

４　第３項の検証にあたっては、発注者が用意するデータでも検証をおこなうこと。

第８条　成果品

第７条の成果を取りまとめ、以下の成果品を提出すること。

①　林道事業工事費積算プログラム・・・・・CD-R １式×２部

②　林道事業設計外注費積算プログラム・・・CD-R １式×２部

③　積算プログラム取扱説明書・・・・・・・印刷物１式×２部、電子データ１式

第９条　用紙

林道事業工事費積算プログラム取扱説明書および林道事業設計外注費積算プログラム取扱説明書を印刷する用紙は、間伐材を使用したグリーン購入法に適合した用紙とすること。

第10条 成果品の納入

成果品の納入場所は、北海道森林管理局　森林整備第二課とする。

別紙１

林道事業工事費積算プログラム修正・改良内容（工事）

１．設計変更内訳書（金額入り）

①通勤補正の反映

現行プログラムでは、通勤補正が掛かっている場合に、設計変更内訳書（金額入り）の「工種計」行の金額欄（図１－①の D･E･F）には通勤補正が反映されるが、「種別」各行の単価及び金額欄（図１－①の A･B･C）には反映されていない。

「種別」各行の単価及び金額欄にも通勤補正を反映させ、「種別」各行の金額欄の合計と「工種計」金額欄が一致するように修正する。

（第１回）設 計 変 更 内 訳 書

前回工事名　工事
今回工事名　工事
森林管理署 本署

工種	種別	単位	現設計			変更設計			増減		備考
			数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	金額	
土工	〔土　工〕	m	38.00	A		38.00	B			C	
	切土 礫質土	m3	585.00	203	118,755	501.00	203	101,703	-84.00	-17,052	
	盛土敷均し･締固め	m3	4,315.00	278	1,199,570	4,747.00	278	1,319,666	432.00	120,096	ブルドーザ15t級
	購入盛土 砂･砂質土 L=34km	m3	1,619.00	5,279	8,546,701	1,997.00	5,279	10,542,163	378.00	1,995,462	ダンプトラック10t車
	盛土法面整形工(削り取り整形) 礫質土	m2	973.00	267	259,791	976.00	267	260,592	3.00	801	バックホウ0.8m3級
	種子吹付工	m2	973.00	185	180,005	976.00	185	180,560	3.00	555	材料費(材料ロス等20%含む)＋施工費
	上･下層路盤工 敷均し･締固め(敷厚25cm)	m3	44.00	2,820	124,080	44.00	2,820	124,080			
	路床内法仕上工 H=20cm	m	46.00	128	5,888	46.00	128	5,888			バックホウ0.8m3級
	工種計		D	(10,434,790)	10,923,000	E	(12,534,652)	13,118,000	F	2,195,000	1,000円未満の端数切捨
擁壁工	〔擁　壁　工〕	m	20.60			20.60					

図１－①　通勤補正の反映

②共通仮設費積上げ項目表示（設計変更内訳書）

現行プログラムでは図１－②のとおり共通仮設費は１式で表示され、積上げ項目の内訳がわからない。これを積上げ項目が行表示されるよう改良する。

（第１回）設 計 変 更 内 訳 書

前回工事名　新設工事
今回工事名　新設工事
森林管理署 本署

工種	種別	単位	現設計			変更設計			増減		備考
			数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	金額	
標識工(SP0～6151)	〔標　識　工〕	基	46.00			46.00					
	カーブミラー(鏡面:ポリカーボネート樹脂)	基	45.00	50,966	2,293,470	45.00	50,966	2,293,470			
	鋼製ゲート(Ｉ型)	基	1.00	260,865	260,865	1.00	260,865	260,865			表示板含む(溶融亜鉛メッキ)
	工種計			(2,554,335)	2,585,000		(2,554,335)	2,585,000			1,000円未満の端数切捨
直接工事費計					38,951,000			39,226,000		275,000	
共通仮設費		式	1.00		4,817,000	1.00		5,653,000		836,000	
現場管理費		式	1.00		11,821,000	1.00		12,108,000		287,000	
間接工事費計					16,638,000			17,761,000		1,123,000	
工事原価					55,589,000			56,987,000		1,398,000	
一般管理費等		式	1.00		6,515,000	1.00		6,661,000		146,000	
工事価格					62,104,000			63,648,000		1,544,000	
消費税相当額		%	5.00		3,105,200	5.00		3,182,400		77,200	
本工事費計					65,209,200			66,830,400		1,621,200	
再掲	入札見積価格･変更予定価格	%	100.00		62,104,000	100.00	(63,648,000)	63,648,000		1,544,000	1,000円未満の端数切捨
	消費税相当額	%	5.00		3,105,200	5.00		3,182,400		77,200	
	総　計				65,209,200			66,830,400		1,621,200	

図１－②　共通仮設費積上げ項目表示

別紙１

③表示・印刷行数増（設計変更内訳書）

設計変更内訳書で３００以上の行数を表示すると図１－③のように罫線からはみ出てしまう。３００行以上の場合にも表示・印刷できるよう改良する。

（第１回）設計変更内訳書

前回工事名　林道外災害復旧工事
今回工事名　林道外災害復旧工事
森林管理署 本署

行	工種	種別	単位	現設計 数量	現設計 単価	現設計 金額	変更設計 数量	変更設計 単価	変更設計 金額	増減 数量	増減 金額	備考
304		瑞排水工（φ400mm)敷設	m	17.00	1,284	21,828	17.00	1,284	21,828			使用期間3ヵ月未満
305		土のう袋切工	m2	2.00	6,675	13,350	2.00	6,675	13,350			Ⅰタイプ
306		水替工 潜水ポンプ据付撤去	箇所	2.00	9,790	19,580	2.00	9,790	19,580			ポンプ口径50mm
307		水替ポンプ運転経費(口径50mm×1台)	日	12.00	4,011	48,132	12.00	4,011	48,132			0～6m3/h未満(作業時)
308		足場材設置・撤去	掛m2	24.00	1,812	43,488	24.00	1,812	43,488			単管足場
309		足場材設置・撤去	掛m2	25.00	1,581	39,525	25.00	1,581	39,525			単管傾斜足場
310		工種計			(437,873)			(437,873)				1,000円未満の端数切捨
311	仮設工(茂岩3.4km	[仮　設　工]	式	1			1					
312		足場材設置・撤去	掛m	15	1812	27180	15	1812	27180			単管足場
313		足場材設置・撤去	掛m	16	1581	25296	16	1581	25296			単管傾斜足場
314		工種計			-52476			-52476				1,000円未満の端数切捨
315	土工(モヘル0.9km	[土　　工]	m	55			55					
316		切土 砂・砂質土	m3	16	191	3056	16	191	3056			バックホウ山積0.8m3級90°（地山掘削・現場条件:普通)
317		盛土敷均し・締固め	m3	75	281	21075	75	281	21075			ブルドーザ15t級
318		運搬盛土 砂・砂質土 L=2(	m3	18	152	2736	18	152	2736			バックホウ山積0.8m3級(地山掘削・現場条件:普通 Cm=35-30)不整地運搬車6t積
319		切土法面整形工(粗面仕上げ	m2	2	321	642	2	321	642			バックホウ0.8m3級
320		盛土法面仕上工 砂・砂質土	m2	2	502	1004	2	502	1004			盛土法面整形(削り取り整形) 種子吹付工
321		側溝 砂・砂質土	m	55	356	19580	55	356	19580			バックホウ0.8m3級
322		路盤工 敷均し締固め	m3	41	3777	154857	41	3777	154857			t=0.25m 購入切込砕石0～80mm 12%割増 ブルドーザ15t級
323		路床内法仕上工 H=20cm	m	55	129	7095	55	129	7095			バックホウ0.8m3級
324		路床排水工 網状管φ50mm(	m	1.8	416	748	1.8	416	740			

図１－③　表示・印刷行数増

２．原設計・変更設計数量対照表

①共通仮設費積上げ項目表示（原設計・変更設計数量対照表）

設計変更内訳表（金額入り）と同じく、共通仮設費の積上げ項目が行表示されるよう改良する。

②表示・印刷行数増（原設計・変更設計数量対照表）

設計変更内訳表（金額入り）と同じく、３００行以上の場合にもを表示・印刷できるよう改良する。

原設計・変更設計数量対照表（第１回）

前回工事名　新設工事
今回工事名　新設工事
森林管理署 本署

工　　種	種　　別	単位	数量 前回設計	数量 今回設計	数量 増　減	摘　　要
標識工（SP0～6151）	〔標　識　工〕	基	46.00	46.00		
	カーブミラー（鏡面：ポリカーボネート樹脂）	基	45.00	45.00		鏡径800mm（一面鏡）、支柱76.3φ×4,000mm
	鋼製ゲート（Ⅰ型）	基	1.00	1.00		表示板含む（溶融亜鉛メッキ）
	工 種 計					
直接工事費計						
共通仮設費		式	1.00	1.00		
現場管理費		式	1.00	1.00		
間接工事費計						
工事原価						
一般管理費等		式	1.00	1.00		
工事価格						
消費税相当額		%	5.00	5.00		
本工事費計						

図２　原設計・変更設計数量対照表

別紙１

３．請負付託仕訳書

①表示・印刷行数増（請負付託仕訳書）

設計変更内訳表（金額入り）と同じく、３００行以上の場合にもを表示・印刷できるよう改良する。

請負付託仕訳書

工事名　林道外災害復旧工事

森林管理署 本署

工種	種別	数量	単位	摘要
	足場材設置・撤去	29.00	掛m2	単管足場
	足場材設置・撤去	30.00	掛m2	単管傾斜足場
	瀬排水工（φ400mm）敷設	17.00	m	使用期間3ヵ月未満
	土のう締切工	2.00	m2	Ⅰタイプ
	水替工　潜水ポンプ据付撤去	2.00	箇所	ポンプ口径50mm
	水替工ポンプ運転経費（口径50mm×1台）	12.00	日	0～6m3/h未満（作業時）
	足場材設置・撤去	24.00	掛m2	単管足場
	足場材設置・撤去	25.00	掛m2	単管傾斜足場
	工種計			
仮設工（茂岩3．4km地点）	〔仮設工〕	1	式	
	足場材設置・撤去	15	掛m2	単管足場
	足場材設置・撤去	16	掛m2	単管傾斜足場
	工種計			
土工（モヘル0．9km地点）	〔土工〕	55	m	
	切土　砂・砂質土	16	m3	バックホウ山積0.8m3級90°（地山掘削・現場条件：普通）
	盛土敷均し・締固め	75	m3	ブルドーザ15t級
	運搬盛土　砂・砂質土　L＝20m	18	m3	バックホウ山積0.8m3級（地山掘削・現場条件：普通 Cm=35-30）不整地運搬車6t積
	切土法面整形工（粗面仕上げ）砂・	2	m2	バックホウ0.8m3級
	盛土法面仕上工　砂・砂質土	2	m2	盛土法面整形（削り取り整形）　種子吹付工
	側溝　砂・砂質土	55	m	バックホウ0.8m3級
	路盤工　敷均し締固め	41	m3	t=0.25m 購入切込砕石0～80mm　12%割増　ブルドーザ15t級
	路床内法仕上工　H=20cm	55	m	バックホウ0.8m3級
	路床排水工　網状管φ50mm（全面	1.8	m	
	コンクリート取壊し工　無筋	0.8	m3	コンクリートブレーカ20kg級

図３－①　表示・印刷行数増

４．明細表（直接工事費）

①表示・印刷行数増（明細表（直接工事費））

現在のプログラムでは、明細表（直接工事費）１枚に入力できる行数が３５行に限られている。１枚に３５行以上入力できるよう改良する。

単価検索　［保存データ呼込］　No.40　明　細　表　全ﾃﾞｰﾀ消去　印　刷　画面ﾃﾞｰﾀ保存　共通仮設へ　基礎入力へ

割増変更	金額計	0
0	内労務計	0
6	内形成計	0

工事名：40　明細表行数増

ｺｰﾄﾞNo	（構造）	（森林管理署名）	（事務所名）	ﾌﾞﾛｯｸ	割増率(%)	（ﾌﾞﾛｯｸ名）
			本署	2		函館地域

単価No	名　称	規　格	数　量	単位	単　価	金　額
3020	バックホウ運転経費	山積0.45㎥(平積0.35㎥)+ 0%		時間	6,037	0
3021	バックホウ運転経費	山積0.45㎥(平積0.35㎥)+10%		時間	6,137	0
3022	バックホウ運転経費	山積0.45㎥(平積0.35㎥)+25%		時間	6,297	0
3024	バックホウ運転経費	山積0.6㎥(平積0.5㎥)+ 0%		時間	6,755	0
3025	バックホウ運転経費	山積0.6㎥(平積0.5㎥)+10%		時間	6,875	0
3026	バックホウ運転経費	山積0.6㎥(平積0.5㎥)+25%		時間	7,065	0
3028	バックホウ運転経費	山積0.8㎥(平積0.6㎥)+ 0%		時間	8,790	0
3029	バックホウ運転経費	山積0.8㎥(平積0.6㎥)+10%		時間	8,970	0
3030	バックホウ運転経費	山積0.8㎥(平積0.6㎥)+25%		時間	9,240	0
3032	バックホウ運転経費	山積1.0㎥(平積0.7㎥)+ 0%		時間	9,268	0
3033	バックホウ運転経費	山積1.0㎥(平積0.7㎥)+10%		時間	9,458	0
3034	バックホウ運転経費	山積1.0㎥(平積0.7㎥)+25%		時間	9,738	0
3036	バックホウ運転経費(ﾎｲｰﾙ型)	山積0.45㎥(平積0.35㎥)		時間	7,579	0
3037	バックホウ運転経費	山積0.8㎥(平積0.60㎥)、ｸﾚｰﾝ2.9t吊		日	33,385	0
3038	ホィールローダ運転経費	山積0.9-1.0㎥		時間	6,312	0
3039	ホィールローダ運転経費	山積1.2㎥		時間	6,622	0
3040	ホィールローダ運転経費	山積1.3-1.4㎥		時間	6,932	0
3041	ホィールローダ運転経費	山積1.5-1.7㎥		時間	8,764	0

35R x 2C

図４－①　表示・印刷行数増

別紙１

５．明細表（現場管理費・一般管理費）

①純工事費・工事原価算出時の支給材料費の取扱い

現場管理費算定の対象となる純工事費の計算に支給材料費が反映されていないことから、「純工事費＝直接工事費＋共通仮設費＋支給品費」へ修正する。

一般管理費算定の対象となる工事原価についても支給材料費が反映されていないことから、「工事原価＝直接工事費＋共通仮設費＋支給品費＋現場管理費」へ修正する。

明　細　表

5　間接工事費　共通仮設費

(構造)
T 直接工事費(+) 4,211,000 / o 適用諸経費率 河川・道路構造物工事
A 積上仮設費等(+) 0 / a 原定率共通仮設費率(%) 26.94
S 支給材料費等(+) 9,347,488 / b 施工地補正(%) 1.0
H PC桁鋼材費等(−) 8,816,713 / c 特殊補正率(単純) 1.0
P 定率仮設費算定対象額 4,741,775 / d 採用仮設費率(%)(a + b)＊ 27.94

単価No	名称	規格	数量	単位	単価	金額	備考
	小計(定率仮設費対象積上分)	0				0	
4256	雨量計設置・撤去	No.737、738別途計上	1.00	回	18,127	18,127	
737	雨量計損料	自記式雨量計	61.00	日	813	49,593	
738	雨量計記録紙	1ヶ月巻	2.00	月	1,080	2,160	
2714	処分場処理経費	鉄くず類	4.01	t	2,000	8,020	
	小計(定率仮設費対象外積上分)	77900				77,000	
	定率共通仮設費	P ＊ 27.94 %	1.00	式		1,324,000	
	計					1,401,000	

明　細　表

6　間接工事費　現場管理費

(構造)		(森林管理署名)	(事務所名)	ﾒｲﾝﾌﾞﾛｯｸ	(ｻﾌﾞﾌﾞﾛｯｸ)	(ﾌﾞﾛｯｸ略称)
		森林管理署	本署	1	9	本局地域
単価No	名称	規格	数量	単位	単価	金額
	現場管理費		1.0	式	−	1,431,000
	計					1,431,000

A 直接工事費 4,211,000 円　飛行経費 0 円
B 純工事費 5,612,000 円　産廃処理費 8020 円
C 率算定対象外経費 8,020 円　対象外計 8020 円
D 現場管理費算定対象額 (B − C) 5,603,980 円
E 現場管理費率 (Dで算定) 25.05 %　河川・道路構造物工事
F 施工時期補正 設定工期 (標準工期) 日 (95 日)

明　細　表

7　一般管理費等

(構造) 計算内容は下記参照		(森林管理署名)	(事務所名)	ﾒｲﾝﾌﾞﾛｯｸ	(ｻﾌﾞﾌﾞﾛｯｸ)	(ﾌﾞﾛｯｸ略称)
		森林管理署	本署	1	9	本局地域
単価No	名称	規格	数量	単位	単価	金額
	一般管理費等		1.0	式	−	−334,000
	計					−334,000

A 工事原価 7,043,000 円　支給品費 9347488 円
B 率算定対象外経費 9,355,508 円　飛行経費 0 円
C 一般管理費等算定対象額 (A − B) −2,312,508 円　産廃処理費 8020 円
D 一般管理費等率 (Cで算定) 14.38 %　対象外計 9355508 円
E 補正係数 1.00
F 補正一般管理費等率 (D＊E) 14.38 %
G 率部一般管理費等額 (C＊F／100) −332,539 円
H 契約保証補正値 0.04 %
I 契約保証補正額 (C＊H／100) −926 円
J 算定一般管理費等 (G+I) −333,465 円
K 採用一般管理費等 (千円止) −334,000 円

備考　係数は四捨五入　金額は切捨

図５－①　純工事費・工事原価算出時の支給材料費の取扱い

別紙１

②冬期補正チェックボックス削除

現場管理費明細表画面での工期設定ウィンドにある「冬期補正」について、赤枠囲み部分のチェックボックスを削除する。

図５－②　冬期補正チェックボックス削除

６．通勤補正による労務費割増の加重平均式修正

通勤補正による労務費割増について、図６のように各明細書段階での割増率がすべて４％であっても加重平均後に4.1%に変動することがある。加重平均は内労務費及び労務元値を用いて算出しているが、これらが1,000円単位に切り捨てされた値となっているため計算結果が変動する。1,000円単位へ切り捨てする前の数値により計算するよう式を修正する。

データ中継表

黄色の部分は使用しない　　G23=round((i23-k23)/k23*100,1)

明細書No	名　　称	仕様・摘要	数　量	単　位	務割増	金　額	内労務費	内形成材料	労務元値
1	落石防止柵工(新設	L=15.00m　H=3.00m	15	m	4	3,198,000	525,000	1,093,000	505,000
2	落石防止柵工(撤去	L=15.00m　H=3.00m	15	m	4	374,000	247,000	0	237,000
3	仮設工		1	式	4	735,000	532,000	69,000	511,000
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15							A		B
16									
計		工種数=	3	加重平均	4.1	4,307,000	1,304,000	1,162,000	1,253,000

図６　通勤補正による労務費割増の加重平均式修正

別紙１

７．価格調書

　積算価格が1,000万円以下の場合は、価格調書に調査基準価格が表示されないように修正する。

図７　調査基準価格表示修正

８．インストール不具合の解消

積算プログラムをインストールする際に CD-R から setup できないという不具合があることから、これを改良し解消する。（現在は、CD-R のデータを PC の HDD にコピーし、そのフォルダにある setup からインストールしている。）

９．取扱説明書の更新

上記の修正・改良に伴い、取扱説明書（平成１６年１２月）を更新する。

別紙２

林道事業設計外注費積算プログラム修正・改良内容（調査）

１．業務費内訳書

図１のような業務費内訳書（例）が積算プログラム上で自動的に作成されるよう改良する。

業務費内訳書については、測量・設計メニュー（新設・格上・改良・災害・法面保護工）に応じて積算システムに入力等された条件（作業区分、数量、単位、単価、金額、現場条件等）が反映されるように、また単価及び金額については表示されるものと非表示のものが作成されるようにする。

業務費内訳書（例）

業務名　テスト林道新設測量・設計業務

〇〇森林管理署

作業区分	数量	単位	単価	金額	現場条件等
設計業務					
〈線形計画〉	1.00	km	-	-	1. 徒歩〈工事現場〉:0m
〈踏査〉	1.00	km	-	-	2. 徒歩〈測量成果残〉:0m
〈線形決定〉	1.00	km	-	-	3. 計画等の難易補正:±20%の範囲
〈平面・縦断設計〉	1.00	km	-	-	4. 地形補正区分:B
〈横断設計〉	1.00	km	-	-	
〈構造物設計〉	1.00	km	-	-	
〈土工数量計算〉	1.00	km	-	-	
〈構造物数量計算〉	1.00	km	-	-	
〈照査〉	1	業務	-	-	
〈協議等〉	1.00	km	-	-	
〈設計説明書等作成〉	1.00	km	-	-	
〈保安林内作業行為申請図書作成〉	1	業務	-	-	〈作業行為申請図書〉位置図
〈保安林内作業行為申請図書作成〉	1	業務	-	-	〈作業行為申請図書〉事業計画図〈協議図〉
〈保安林内作業行為申請図書作成〉	1	業務	-	-	〈作業行為申請図書〉実施設計図〈求積図〉
〈保安林内作業行為申請図書作成〉	1	業務	-	-	〈作業行為申請図書〉製本とりまとめ
〈保安林内作業行為申請図書作成〉	1	業務	-	-	〈作業行為申請図書〉照査
細計					
直接経費	1	式	-	-	
細計					
計					
諸経費	1	式	-	-	
技術経費	1	式	-	-	
細計					
計					
測量業務					
〈計画・準備〉	1	業務	-	-	1. 測量延長補正:0〜+20%の範囲
〈中心線測量〉	1.00	km	-	-	2. 徒歩〈工事現場〉:0m
〈縦断測量〉	1.00	km	-	-	3. 徒歩〈測量成果残〉:0m
〈横断測量〉	1.00	km	-	-	4. 地形補正区分:B
〈土質区分〉	1.00	km	-	-	5. 伐開延長:1,000m
〈伐開〉	1.00	km	-	-	6. 伐開区分:B
〈用地測量〉	1.00	km	-	-	7. 用地区分:C
細計					
直接経費	1	式	-	-	
細計					
計					
諸経費	1	式	-	-	1. 拠点移動回数:0
計					2. 起点:札幌市
合計					3. 宿泊地:〇〇町
					4. 宿泊地まで〈片道〉:25km
消費税相当額	5	%	-	-	5. 現場まで〈片道〉:25km
合計					6. 旅費算定基準:宿泊
総計					7. 請負予定機関:一般会社
					8. 技術経費率:20%
					9. 精度管理費率:0%

図１　業務費内訳書（例）

２．消費税率

消費税率を任意に変更できるように改良する。

３．品質基準価格

品質基準価格の参考資料が予定価格の別表として印刷されるように改良する。

４．格上林道測量入力表

図２のとおり、不要な項目を削除もしくは非表示にする。

別紙２

「本欄無視」とあるが未入力では積算ができないことから積算に組み込まないかたちで非表示

3. 格上林道測量入力表

[入力項目]			[入力欄]	区分	補正因子	補正(加数等)	単位
01 歩掛登録番号	(歩掛番号を指定し登録する)	▲▼	2,900	-	登録範囲 2801 ～ 3000	-	-
02 延長(下段は伐開延長)	全長は淡青欄へ (内伐開延長→) 500	▲▼	1,000	m	標準(0%)	0	%
03 徒歩(工事現場)	(m単位で入力 例500m→500等)	▲▼	500	10	分 合計徒歩時間	25	分
04 徒歩(測量成果残)	(m単位で入力 例500m→500等)	▲▼	500	15	分 外業歩掛補正	0	%
05 中心線地況等	(1=A 2=B 3=C 4=D 5=E)	地形区分表へ	2	-	B	-10	%
06 縦断地況等	(1=A 2=B 3=C 4=D 5=E)			-	B	-10	%
07 横断地況等	(1=A 2=B 3=C 4=D 5=E)			-	B	-10	%
08 伐開区分	(1=A 2=B 3=C 4=D)	伐開区分表へ	2	-	B	B歩掛適用	-
09 用地区分	(1=A 2=B 3=C 4=D)	用地区分表へ	3	-	C	C歩掛適用	-
10 用地測量(潰れ地調査)	○ 民有林 ◉ 国有林	本欄無視	2	-	国有林歩掛	国	-
11 保安林作業選択	表から必要項目を選択する	保安林調査表へ	-	-	保安林調査表へは、必ず実行		-
12 改良設計の有無	作業道跡の利用	▲▼	0	%	0 ～ -30% の範囲内でボタン入力	0	%
13 調査名	(請負付託調査名)		平成25年度 積算プログラム修正業務用				
14 名称	(本設計の名称)		平成25年度 積算プログラム修正業務用				
15 規格	(本設計の構造・規格等)		W=3.6				

格上げ	①計画・準備	②中心線測量	③縦断測量	④横断測量	⑤土質区分	⑥伐開	⑦用地測量	⑧潰れ地調査	⑨保安林調査
組み込み	◉	◉	◉	◉	○	◉	○	○	◉
除外	○	○	○	○	◉	○	◉	◉	○

※⑤土質区分及び⑧潰れ地測量は本歩掛では使用しない

削除

図２　格上林道測量入力表

５．格上林道設計入力表

図３のとおり、不要な項目を削除する。

4. 格上林道設計入力表

[入力項目]			[入力欄]	区分	補正因子	補正(加数等)	単位
01 歩掛登録番号	(歩掛番号を指定し登録する)	▲▼	2,901	-	登録範囲 2801 ～ 3000	-	-
02 設計延長	(m単位で入力 例500m→500等)	▲▼	1,000	m	-		%
03 徒歩(工事現場)	(m単位で入力 例500m→500等)	▲▼	500	10	分 合計徒歩時間	25	分
04 徒歩(測量成果残)	(m単位で入力 例500m→500等)	▲▼	500	15	分 外業歩掛補正	0	%
05 計画等の難易補正	(線形計画・踏査・線形決定の難易補正)	▲▼	0	%	±20% の範囲内でボタン入力	0	%
06 地形補正区分	(1=A 2=B 3=C 4=D 5=E)	区分表へ	1	-	A	-10	%
07 改良設計の有無	作業道跡の利用	▲▼	0	%	0 ～ -30% の範囲でボタン入力	0	%
08 調査名	(請負付託調査名)		平成25年度 積算プログラム修正業務用				
09 名称	(本設計の名称)		平成25年度 積算プログラム修正業務用				
10 規格	(本設計の構造・規格等)		W=3.6				

格上げ	①線形計画	②踏査	③線形決定	④平面縦断設計	⑤横断設計	⑥構造物設計	⑦土工数量計算	⑧構造物数量計算	⑨照査
組み込み	○	○	○	◉	◉	◉	◉	◉	◉
除外	◉	◉	◉	○	○	○	○	○	○

共通	①協議打合	②成果品作成
組み込み	◉	◉
除外	○	○

※①線形計画、②踏査および③線形決定は本歩掛では使用しない

削除

図３　格上林道設計入力表

別紙２

６．乗込引上旅費計算書

図４のとおり、「C 日当単価」を半額に修正する。

乗込引揚旅費計算書

工種	項目	摘要	1 技師長	2 主任技師	3 技師A	4 技師B	5 技師C	6 技術員	10 調査技師	11 主任調査員	12 調査員	15 測量主任技師	16 測量技師	17 測量技師補	18 測量助手	乗込旅費計	ライトバン経費	合計
一般調査	A 外業実人員																	
	B 日当該当日数	Aが0.1以上は2																
0	C 日当単価	税補正額																
	D 日当	B＊C																
	E 技術者賃金																	
	F 乗込引揚賃金	E＊(Q+P＊0.5)																
	G 普通旅費日数	実人員に対し1.0日																
	H 宿泊料	税補正額																
	I 設計宿泊費	H＊(1+P＊0.5)																
	J 乗込引揚旅費額	D＋F＋I														0	0	0
	K 積算対象旅費															FALSE	採用旅費額	0
解析等調査	A 外業実人員																	
	B 日当該当日数	Aが0.1以上は2																
0	C 日当単価	税補正額																
	D 日当	B＊C																
	E 技術者賃金																	
	F 乗込引揚賃金	E＊(Q+P＊0.5)																
	G 普通旅費日数	実人員に対し1.0日																
	H 宿泊料	税補正額																
	I 設計宿泊費	H＊(1+P＊0.5)																
	J 乗込引揚旅費額	D＋F＋I														0	0	0
	K 積算対象旅費															FALSE	採用旅費額	0
設計等業務	A 外業実人員		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	B 日当該当日数	Aが0.1以上は2																
0	C 日当単価	税補正額																
	D 日当	B＊C																
	E 技術者賃金																	
	F 乗込引揚賃金	E＊(Q+P＊0.5)																
	G 普通旅費日数	実人員に対し1.0日																
	H 宿泊料	税補正額																
	I 設計宿泊費	H＊(1+P＊0.5)																
	J 乗込引揚旅費額	D＋F＋I														0	0	0
	K 積算対象旅費															FALSE	採用旅費額	0
測量業務	A 外業実人員		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.45	2.95	3.47			
	B 日当該当日数	Aが0.1以上は2											2.0	2.0	2.0			
74,491	C 日当単価	税補正額											2,095	2,095	1,619			
	D 日当	B＊C											4,190	4,190	3,238			
	E 技術者賃金												25,700	21,600	21,100			
	F 乗込引揚賃金	E＊(Q+P＊0.5)											12,850	10,800	10,550			
	G 普通旅費日数	実人員に対し1.0日											1.0	1.0	1.0			
	H 宿泊料	税補正額											9,333	9,333	7,428			
	I 設計宿泊費	H＊(1+P＊0.5)											9,333	9,333	7,428			
	J 乗込引揚旅費額	D＋F＋I											26,373	24,323	21,216	71,912	2,579	74,491
	K 積算対象旅費															TRUE	採用旅費額	74,491
備考	旅費区分	1 宿泊	乗込・引揚は、最大のパーティーのみ積算しそのパーティが他業務も兼務するものとする。															
	拠点移動回数(P)	0 回	拠点移動は、1回当たり0.5日とし日当・技術者賃金・宿泊費を補正する。															
	基準日額(Q)	0.5 日	基準日額は、片道所要時間により算定。 片道所要時間 1.4 時間												淡青色枠には、計算式がセットされています。			

C 日当単価を半額に改正
(2,095→1,045、1,619→809)

図４　乗込引上旅費計算書

７．調査費積算構成表

図５のとおり、「F 報告書類作成費」について備考欄に「F < 50,000 の場合は 50,000」と追記する。

調査費積算構成表

No.	1	設計等業務			
分類	区		分	金額	備考
3 設計費	直接費	人件費等	A 直接人件費		
			B 労務費		
			C 細計		
		直接経費	D 乗込・引揚旅費		
			E 現場作業旅費		
			F 報告書類作成費		
			G 積上直接費		
			H その他積上経費		
			I 細計		
		J 直接費計			
	間接費	K 諸経費			
		技術経費	L 技術経費		
			M 端数整理額		
			N 細計		
		O 間接費計			
P 計					

「F＜50,000の場合は50,000」を備考欄に明記

図５　調査費積算構成表

別紙２

８．ライトバン経費計算書

現在、印刷設定が A5 サイズとなっている。これを A4 サイズに変更する。

９．タイトル画面の年月表示編集

図６にあるタイトル画面の「平成 22 年 9 月」という年月表示を編集入力できるように改良し、単価改正時などに年月を更新できるようにする。

年月を入力表示できるようにしたい

図６　タイトル画面の年月表示編集

10. メニュー画面及び入力表の項目名変更

図７のとおり「法面保護工」を「落石防止網工」に変更する。

同じく図８及び図９のとおり入力表のタイトルを変更する。

９と１０の「法面保護工」を「落石防止網工」に変更

図７　メニュー画面項目変更

別紙２

9. 法面保護工測量入力表　「法面保護工」を「落石防止網工」に変更

[入 力 項 目]		2801～3000	[入力欄] 2816	区分	補正因子	補正 (加数等)
1. 歩掛登録番号	(歩掛番号を指定し登録する)					
2. 山腹総面積	(Ha単位　例 0.65Ha → 0.65 等)	−	0.50	2	0.5～1.0ha未満	0.2
3. 条件選択	1 標準測量　標準測量	平面図1/200～1/50 B		2	0.3～0.6ha未満	0.0
4. 平面測量方法	(1=通常測量　2=周囲測量のみ)		2	2	周囲測量のみ	0.7
5. 崩壊箇所数	(測量を要する崩壊地の数を入力)		2	1	1～2ヶ所	-0.2
6. 地況	(1=易　2=中　3=難)	判定表	2	2	中	0.0
7. 縦断総延長	(縦断測量総延長を m単位で入力)		200	−	200 m	*
8. 横断延長	(平均横断測量延長を m単位で入力)		20	1	50m未満	-0.1
9. 横断測量数	(横断測量本数入力)		2	−	2 横断	*
10. 等高線間隔	(1=2m　2=5m　3=10m)		2	2	5m	0.0
11. 調査名	(請負付託調査名)		test			
12. 名称	(本設計の名称)		test			
13. 規格	(本設計の構造・規格等)					0.5

①踏査選点 ○組み込み ◉除外　②平面測量 ○組み込み ◉除外　③縦断測量 ○組み込み ◉除外　④横断測量 ◉組み込み ○除外　⑤平面図作成 ◉組み込み ○除外　⑥協議打合せ ◉組み込み ○除外

図８　測量入力表タイトル変更

10. 法面保護工設計入力表　「法面保護工」を「落石防止網工」に変更

[入 力 項 目]		2801～3000	[入力欄] 3000	補正因子	補正 その1	補正 その2
1. 歩掛登録番号	(歩掛番号を指定し登録する)					
2. 解析等調査事業等	(1=解析等調査と同時積算　2=なし)		2	無	1	1
3. 全体計画資料	(1=有り　2=無し)		1	有	1	1
4. 安定計算	(1=別途計算　2=標準設計)		2	標準設計	0.0	*
5. 細部事項指示	(1=発注者が指示　2=指示無し)		1	有	0.0	1
6. 設計組合わせ	(1=渓間工と組合　2=単独設計)		2	単独	1.0	1.0
7. 面積規模補正	(山腹面積　Ha単位 で入力)	−	0.50	0.5～1.0ha未満	0	*
8. 地　況	(1 = 易　2 = 中　3 = 難)	判定表へ	2	中	0	*
9. 工種組合わせ	(1=単純　2=通常　3=複雑)		2	通常の組合せ	0	1
10. 調査名	(請負付託調査名)		○○治山工事実施測量及び設計業務			
11. 名称	(本設計の名称)		山腹工設計業務			
12. 規格	(本設計の構造・規格等)		山腹工0.50ha			

①現地調査 ◉組み込み ○除外　②基本事項決 ◉組み込み ○除外　③設計計算 ◉組み込み ○除外　④平面図等 ◉組み込み ○除外　⑤構造図 ◉組み込み ○除外　⑥数量計算 ◉組み込み ○除外　⑦照査 ◉組み込み ○除外　⑧設計説明書 ◉組み込み ○除外　⑨打合せ協議 ◉組み込み ○除外

図９　設計入力表タイトル変更

11. 取扱説明書の全面更新

上記の修正・改良を含め既存の取扱説明書を全面的に更新する。